

身近な空：アーバンエアモビリティの実現に向けて

「アーバンエアモビリティ」は既存航空機の 카테고리とは異なる低空を飛ぶ乗り物です。この身近な空の移動手段は入門航空機の1つとして安全かつ秩序ある健全な環境整備を踏まえた上での実現化が急務と考えます。HUAMでは入門航空機として既に実用化されているLSAも含めて、人員が搭乗し身近に移動する手段として活用する飛行体を称してアーバンエアモビリティと定義。本邦における“空の変革”への迅速な対応を支援していきます。

プログラム

開会のご挨拶：HUAM設置趣意：御法川 学 (HUAM所長・理工学部教授)

基調講演1「チェコ共和国の航空産業について」

Richard Schneider氏 (チェコ共和国投資開発庁)

基調講演2「安全文化の醸成」：竹内 繁吉氏 (エアバスヘリコプターズジャパン)

基調講演3「航空宇宙産業の未来を創る アディティブ製造の世界 *日本語講演」

トーマス パン氏 (GEアディティブ 日本統括責任者)

基調講演4「作って飛ばして見えて来たコト」：四戸 哲氏 (オリンパス代表取締役)

研究紹介1「HUAMにおける機体研究」

東海枝 一樹 (理工学部機械工学科4年)

研究紹介2「HUAMにおける小型機研究」

浅見 将輝 (大学院工学研究科修士2年)

研究紹介3「スティングレイ・HUAMが提案するアーバンエアモビリティ」

水野 操 (HUAM特任研究員・ニコラデザイン・アンド・テクノロジーズ)

閉会のご挨拶：白井 一弘 (HUAM特任研究員・JALエンジニアリング)

開催：2019年3月16日 (土) 13:00~16:05

(受付12:00~、終了後懇親会有)

会場：法政大学市ヶ谷キャンパス

外濠校舎3F S305教室

主催：法政大学大学院 アーバンエアモビリティ研究所

- ・講演会のみのご参加も歓迎致します。
- ・プログラム終了後に学内で懇親会を予定しています。(16:20~18:20を予定)

